

第6回教育研究評議会（定例）

開催 : 令和5年9月6日(水)
 場所 : 本部棟2F会議室、オンライン
 出席 : 学長、理事（教育接続・連携P F担当）、理事（研究・社会連携担当）、
 理事（総務・経営改革担当）、理事（ダイバーシティ&インクルージョン担当）、
 キャンパスライフ支援本部長、国際本部長、教育高度化本部長
 工学研究院長、情報工学研究院長、生命体工学研究科長、教養教育院長
 臨席 : 近藤監事、林田監事

No.	種別	議題	結果	主な意見
議題 1	(報告事項)	令和3年度監事監査（臨時監査）の対応状況		<p>(近藤監事) 決裁権限大綱で学科長・専攻長の役割が明確にできていないということが課題として挙がっているが、3年ほど前に監事から学科長・専攻長にヒアリングした際には、学部・学科の特性や個人によって役割は様々であるという事情を伺っており、決裁権限大綱が馴染むかどうか悩ましく、ある程度大きくくりのところで書いておく必要があるのではないかと思う。学科長・専攻長は、学部長・研究科長の求めに応じて意見を出す立場であり、各学科の個人特性を含めると色んな形があるので、大枠に留めることも一つの解決策かもしれない。</p> <p>(近藤監事) 若手工学アカデミーには年齢制限があるため、卒業した後のOBOGがどういふふうに関わっていくかというところまで含めて検討されていることが、アカデミーの継続性につながっていくと感じる。</p> <p>(林田監事) 自己統治システムの確立・問題点に関して、職員1人1人が学長方針を理解・共感できる取り組みも進められている。これが一番難しいが大切なことである。組織の中で沢山のプロジェクトが同時進行している中で、職員1人1人が何の目標のために自らがどのように動くべきなのかを理解している状態が理想的であり、逆に理解が出来ていないとプロジェクトが上手く進捗しない。 →(学長) 目標管理制度を試行的に導入したところ。今年度、目標設定に関して学長と本部長と間で対話を重ねてきた。さらに、本部長から部課長へと下ろしていき、今年度の目標設定と評価観点を明確化していく。その際に、上長と部下の間で目標設定のすり合わせが対話形式で実施されることで、目標を組織全体に浸透させるという効果もある。</p> <p>(林田監事) 電子決裁システムの導入をぜひ進めていただきたい。 →(高崎理事、総務課) 電子決裁システムに関しては総務課と情報基盤課で検討を進めている。導入スケジュールは未確定だが進めていきたい。</p> <p>(林田監事) 役割と権限に関して、3キャンパスで業務が標準化されていないために余計なコストがかかっていると書かれているが、特にどういう点を課題として認識されているか。 →(学長、坂本本部長) 一番大きいところは教務情報システムの標準化と考えている。来年8月にシステムを刷新するが、その際にはなるべくキャンパス毎のローカルルールは排除する方針で導入に向けて進めている。</p>

No.	種別	議題	結果	主な意見
				<p>(林田監事) 若手工学アカデミーを継続させていくためには、運営スタッフやメンバーの確保が大切である。また、アカデミーに入るメリットや取り組みやすさも大切である。 →(学長)教育職員の採用において若手の採用目標を定めている。本学ホームページの採用情報ページで若手工学アカデミーの活動について宣伝を行い、採用後は自動的に若手工学アカデミーのメンバーとすることとしているが、最後は若手工学アカデミー幹事経験者が後輩にどのように継承させていくかが肝になる。今後も若手工学アカデミーとの対話を行っていく。</p> <p>(林田監事) コスト面に関して、沢山のプロジェクトを進めて行く中で教職員の人数をもう少し増やしていくのか、仕事の負荷を考えつつ予算も考えたアクションが必要になってくる。新しいことをする際に、働いている教職員が大変になるという状況は避けたほうが良い。プロジェクトを遂行する際の人数配置とコストを見据えて、色んなプロジェクトを成功させてほしい。 →(学長)URA人材に関しては、国プロ申請において補助対象として認められることが主流になってきている。採択されると、サポート人材の人件費も含む助成金・補助金が得られる。半導体のリカレントリスニングについても、人件費とセットで進めている。また、特別目的会社(SPC)として業務を外部に outsourc 等により、大学が稼げば稼ぐほど仕事が増えてしまうという従来の形から脱却したい。</p>
議題2	(報告事項)	令和4年度監事監査(臨時監査)結果の対応		<p>(近藤監事) 人材バンクは以前から存在しているが数年間利用が無かったと聞いており、見直した結果、新たな人材バンクシステムを立ち上げるということになったものと理解している。非常に期待しており、進めていただきたい。</p>
議題3	(審議事項)	教育職員の選考	承認 (1)工学研究院機械知能工学研究系教授 任期なし令和5年10月1日付 (2)工学研究院電気電子工学研究系教授 任期なし令和5年10月1日付 (3)工学研究院電気電子工学研究系教授 任期なし令和5年10月1日付 (4)教養教育院人文社会系教授 任期なし令和5年10月1日付	
議題4	(審議事項)	任期付助教の選考	承認 先端研究・社会連携本部先端研究推進部助教 任期あり令和5年11月1日～令和8年3月31日	
議題5	(審議事項)	教育職員選考委員会の設置	承認 (1)情報工学研究院知的システム工学研究系准教授 (2)情報工学研究院知的システム工学研究系准教授または助教 (3)情報工学研究院物理情報工学研究系准教授または助教 (4)生命体工学研究科生命機能応用工学専攻教授または准教授	
議題6	(審議事項)	教育職員選考委員会委員の変更	承認 令和5年7月5日開催の教育研究評議会で設置が承認された選考委員会委員の変更・工学研究院建設社会工学研究系教授	
議題7	(報告事項)	客員教授等の称号授与		
議題8	(報告事項)	2024年電子ジャーナル契約の変更		

No.	種別	議題	結果	主な意見
議題9	(報告事項)	令和5年度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)及び(応用基礎レベルプラス)の認定結果		
議題10	(報告事項)	日本自動車工業会大学出張授業2023		
議題11	(審議事項)	国費優先配置特別プログラムの申請		
議題12	(審議事項)	国際交流協定等の締結および終了		
議題13	(審議事項)	学生・職員の新型コロナウイルス感染状況		